

第1回 出雲市総合計画審議会 会議録

1. 開催日時

令和3年10月21日(木) 14時00分から15時40分

2. 開催場所

出雲市役所 6階 全員協議会室

3. 会議の出席者

(1) 委員 (20名)

三吉 庸善会長、吉田 美智子副会長

青山 博之委員、安喰 愛委員、岡 彩子委員、落合 のり子委員、河上 史子委員、北村 功委員
齋藤 茂子委員、塩飽 邦憲委員、高砂 明弘委員、田邊 達也委員、萬代 輝正委員、福島 沙織委員
堀江 泰誠委員、松林 亜希子委員、水師 幸夫委員、山崎 英樹委員、山根 善治委員、山本 富子委員

※欠席者2名(板垣 成二委員、金築 千晴委員)

(2) 出雲市

飯塚市長、伊藤副市長

藤原総合政策部長、安食総合政策部次長、杉原政策企画課長補佐、廣澤政策企画課係長、松浦政策企画課係長、濱村政策企画課主任、若手職員ワーキンググループ(錦織副主任、松井副主任、安井主事、佐野主事)

(3) 総合計画策定支援 委託事業者

(株) バイタルリード 代表取締役 森山、宮下部長、岩崎次長、森山主任

4. 次第

1 市長あいさつ

2 委嘱ならび委員紹介 ※出雲市総合計画審議会委員名簿

3 会長・副会長選出 ※出雲市総合計画審議会条例

4 諮問

5 議事

(1) 出雲未来図の検証結果について

…資料 1-1 資料 1-2

(2) 次期出雲市総合振興計画の策定について

…資料 2-1

● 出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略概要版

…資料 2-2

● 市民満足度調査票

…資料 2-3

● 高校生アンケート調査票

…資料 2-4

6 その他(参考資料)

(1) 出雲市の主要統計

…資料 3

5. 会議経過

1 開会

事務局（安食総合政策部次長）

それでは、ただいまより第1回出雲市総合計画審議会を開催いたします。私は総合政策部次長の安食と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

会長の選出が行われるまで進行役を務めさせていただきますので、どうかよろしくお願いいたします。それでは初めに飯塚市長がご挨拶申し上げます。

2 市長あいさつ

飯塚市長

出雲市長の飯塚でございます。本日はご多用のところ、出雲市総合計画審議会にご参加いただきまして誠にありがとうございました。

この会議は、出雲市にとって大変重要な審議会だと思っております。これからの出雲の未来について、どのような方向に持っていくのかをご審議いただく場でございます。22名の委員の皆さまのそれぞれのお立場やご経験等をこの会議で忌憚なく発言いただき、より良い方向にまとめられるようお願いをいたします。委員の皆さんは、様々な分野の方がいらっしゃいます。今回、男女比が半分程度ということで、様々な観点からご意見いただきたいと思っております。

現計画は、本年度をもって終了いたします。これから来年6月までご審議いただき、来年の9月議会に提案して参りたいと考えています。現計画は、斐川町と合併した翌年に策定し、10年を経たところですが、斐川町と一緒に、大きな出雲市、また魅力的な出雲市になって参りました。一方、全国的な流れとして少子高齢化という大きな波があります。幸いにして出雲市は、県内8市で唯一人口が減少していない市ですが、市内では人口が増えているところと減っているところ、二極化が進んでいるのも事実です。

そのような課題がある中、人口減少を食い止め、雇用対策や定住対策、少子化対策に取り組んでいくという決意のもと、市政を運営したいと思っております。

そして、新型コロナウイルス感染症の第6波が来るという予想もある中、ウイズコロナの生活においても魅力ある出雲になるために一緒に取り組んで参りたいと思っております。

デジタル化や脱炭素、SDGsも含め、様々な面で世の中変わってくるところだと思っております。どうかそのような観点も取り入れながら、この出雲市が前に進むよう、ご協議いただきますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

3 委嘱ならびに委員紹介

事務局（安食総合政策部次長）

続きまして、委員の皆様へ委嘱を行います。本来であれば、お一人ずつ委嘱状をお渡しすべきですが、時間の都合上それぞれの机の上に委嘱状をお配りしております。これをもって委嘱とさせていただきます。なお、委嘱期間は、本日から諮問に係る調査、審議が終了するまでの期間でございます。

4 会長・副会長選出

事務局（安食総合政策部次長）

本日、20名と委員の過半数のご出席をいただいておりますので、出雲市総合計画審議会条例第5条第2項の規定によりまして、本日の審議会が成立していることをご報告申し上げます。

続きまして、会長、副会長の選出に入ります。

資料の出雲市総合振興計画条例をご覧ください。第4条 会長、副会長は委員の互選により定められています。会長の選出にあたり、皆様からご推薦等がございますか。なければ、事務局案を提案したいと思いますが、よろしいでしょうか。

<承認>

事務局（安食総合政策部次長）

それでは、会長を出雲商工会議所 三吉 庸善委員、副会長を出雲文化伝承館館長 吉田 美智子委員にお願いしたいと存じますが、よろしいでしょうか。

<承認>

事務局（安食総合政策部次長）

ご承認いただき、ありがとうございました。それでは最初に三吉 庸善会長ご挨拶をお願いします。

三吉 庸善会長

ただいま、会長にご指名をいただきました出雲商工会議所の三吉でございます。冒頭、飯塚市長よりお話がありましたように、出雲市の未来像を描きながら、指針となる計画を作る仕事を務めさせていただくことに大きな重圧を感じております。そして、多方面からお出かけいただいた委員の皆さまの貴重な時間を拝借することに関しても、大変な役目を担わせていただいたと思っておりますが、何よりも気楽に、いろんな発言をしていただけるような会の運営に努めていきたいと思っております。

来年の6月までに何度か会合があると思っておりますが、皆さま方のご協力、ご指導、ご意見を賜りながら務めて参りたいと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

事務局（安食総合政策部次長）

続きまして、吉田 美智子副会長より一言ご挨拶をお願いします。

吉田 美智子副会長

副会長に選任いただきました吉田でございます。

先ほど会長もおっしゃられたように、出雲市の将来の計画を策定していくということで、大変重責であるという思いでいっぱいです。大変微力ではございますが、会長の足を引っ張らないよう進めていければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

5 諮問

事務局（安食総合政策部次長）

それでは、市長から三吉会長へ本計画に対する諮問書をお渡しいたします。なお、各委員の皆さまには、諮問書のコピーをお配りします。

<諮問書交付>

事務局（安食総合政策部次長）

それでは、ここからの進行は三吉会長にお願いしたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

6 議事

（1）出雲未来図の検証結果について

三吉 庸善会長

それでは早速、議題に入らせていただきたいと思います。

議題（1）出雲未来図の検証結果について、事務局からご説明をお願いいたします。

事務局（廣澤政策企画課係長）

（1）出雲未来図の検証結果について **資料 1-1**、**資料 1-2**から説明

三吉 庸善会長

ただいま、議事（1）出雲未来図の検証結果についてご説明いただきましたが、この件につきまして、ご質問・ご意見等ございましたら遠慮なくご発言をいただきたいと思います。

山本 富子委員

この目標（4つの戦略プロジェクト）は、どなたが作られた目標ですか。

事務局（廣澤政策企画課係長）

これは、出雲未来図を策定する際に、それぞれの部署が何を目標とするか考え、また、それらの目標数値を何にするかについてもそれぞれの担当部署が考えたものです。それを、審議会で検討いただき決定したところです。

山本 富子委員

担当課の市の職員さんが作られたということですね。

事務局（廣澤政策企画課係長）

提案としてはそうです。

山本 富子委員

その中に市民は全く入っていないのですか。

事務局（廣澤政策企画課係長）

考案した際にはそれぞれの部署が考えているのですが、それら内容を審議会の皆さんに提示し、話し合いをしていただいたところです。

三吉 庸善会長

山本委員、よろしいでしょうか。

山本 富子委員

ありがとうございます。

三吉 庸善会長

では、田邊委員どうぞ。

田邊 達也委員

4つの戦略プロジェクトの検証の中で、人口の17万人キープということではありますが、私はこの10年間大社の地で夢のような人出を見ており、本当にありがたいと思っておりました。最近、高速道路の通過に伴う地域の衰退を見るに至り、我が故郷の多伎で活動を始めました。この出雲未来図が策定された平成24年に、限界集落が3地区、準限界集落が51地区予想されております。その時のコメントで、10年後にはおそらく全てが限界集落になっているのではないかと書いてありますが、それについて検証が終わっていれば教えていただきたいと思います。

事務局（安食総合政策部次長）

私からお答えさせていただきます。まず、冒頭に先ほど山本委員からご質問がありましたこの計画の策定ですが、4つの戦略プロジェクトについては10年前にこういった形の審議会を開催し、審議会委員の皆さんで決めていただいた目標人数となっております。途中、上方修正した項目もございますが、基本的にこういった審議会でご意見をいただき、まとめたものでございます。

田邊委員のご質問ですが、現在数字を持ち合わせておりませんが、私の地元も佐田にあり限界集落があります。確かに、10年前には限界集落が増えていくようになっていましたが、この間地域の皆さん、特に中山間地域の皆さんの様々な取組があり限界集落の数としてはあまり変化をしていないというふうに認識して

おります。ただ、課題として後継者対策、特に農業・漁業の分野について、雇用の確保が非常に課題になっております。また、最近地元からの要望でよく聞くのが、道路等の環境整備です。公園等の草刈りといったものが地元ではできなくなったというような様々な意見をいただいております。こういった意見も、次期総合振興計画策定にあたって考えていく重要な課題ではないかと認識しております。

三吉 庸善会長

また、数字的なことがわかりましたらお知らせいただきたいと思います。その他ございませんでしょうか。

<質問等なし>

(2) 次期出雲市総合振興計画の策定について

三吉 庸善会長

それでは、議題(2)をご説明いただいた後、遡っても結構ですのご意見・ご質問をお受けしたいと思います。

事務局（杉原政策企画課長補佐）

(2) 次期出雲市総合振興計画の策定について、[資料 2-1](#)、[資料 2-1 関係資料](#) により説明

三吉 庸善会長

それでは、ただいまご説明をいただきました次期出雲市総合振興計画の策定について、ご質問・ご意見ございましたら遠慮なくご発言をいただきたいと思います。

河上 史子委員

市内の外国籍の住民の増加や定住希望も増加していると思いますが、多文化共生の観点からも広く多くの方の声を市政に取り入れていく必要性を感じております。市民満足度調査の調査票について、必要な方にはやさしい日本語、または、翻訳対応等されたのでしょうか。教えてください。

事務局（杉原政策企画課長補佐）

市民満足度調査につきましては、不特定多数ですが外国籍の方へも行っております。おっしゃるように、やさしい日本語とそれぞれの国籍だと思われる翻訳で調査票を送っています。

三吉 庸善会長

よろしいでしょうか。では、塩飽委員お願いします。

塩飽 邦憲委員

日系ブラジル人の方の派遣会社の産業医や健康診断等で外国人労働者の方に接する機会が多いので、今のお話と関連して申しあげますが、多文化共生という観点とはとても大事で様々な活動があると思います。福祉や建設業、製造業等の外国人技能研修生や村田製作所、富士通等の企業に勤めている日系ブラジル人の方もいて、特に福祉ではこれから外国人労働者の受け入れを促進しようと動いております。

多文化共生だけでなく、外国人労働者の受け入れを出雲市としてどうするのかという観点を柱に入れていただきたい。日本人だけでやっていける時代は過ぎておりますので、外国人の受け入れと同時に多文化共生なり多様な人達が生活し働けるというジェンダー等の取組をしていただけたらと思います。

第2回、第3回審議会へ出席できないため、医療関係のことで申し上げますと、新型コロナウイルス感染症の関係で中断していますが、地域医療構想で急性期病院を減少させ慢性期の受け入れ病床を増やすという方向が大きな動きになります。ただ、出雲圏は超急性期病院の受け入れがない雲南市や大田市等の近隣地域から受け入れをしないといけないため、島根大学医学部附属病院や県立中央病院で調整しながらやっていただいています。今回の新型コロナウイルス感染症の入院についても共同で対処ができたのではないかと思います。その他、慢性期の病床含めて地域医療構想の主体は都道府県ですが、二次医療圏は出雲圏でありますので、この地域医療構想について自治体がどのような考えを持つかという観点も大事ではないかと思います。調整もあり、民間も多いので難しいところだと思います。

また、今回の新型コロナウイルス感染症の関係で、危機管理の弱さも少しあったのではないかと非常に強く思います。幸い、出雲市役所本庁で陽性者は発生しませんでしたし、出雲市全体としても市民・医療機関・介護機関の対応で大事には至りませんでした。都会だと、庁内の部全体がストップするようなことがあります。出雲市では本庁と支所で上手く連携しながら対応をされたと思いますが、住民と協働する拠点のコミュニティセンターとのネットワークが非常に弱く、例えばコミュニティセンターを会場にWEB会議をするとか、WEB会議を使って教育をする等コミュニティセンターの受け皿ではなかなかできなかったことがありました。市民協働での福祉、地域活動がストップしたという側面がありますので、危機管理にお金をつぎ込む、デジタルで全て対応するというのは様々なことが確定していない中で難しい点だと思います。ソフトな対応なり、せめてコミュニティセンターを含んだネットワークの強化をいただけたらありがたいと思っています。

三吉 庸善会長

ありがとうございました。大変貴重なご意見をいただいたと思います。事務局からコメントがございませぬか。

事務局（安食総合政策部次長）

先ほど塩飽委員から貴重なご意見をいただきました。確かに出雲市は県内でも屈指の医療圏域であり、医療体制が整った地域でございます。そういったところで塩飽委員からお話がありましたように課題が出てまいりました。今後、コロナ禍での経験をまちづくりに生かしていきたいと思っております。また、塩飽委員にもご意見をいただきながら進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

斎藤 茂子委員

市民の声をどのように生かしていくのかという点で、市民満足度調査の話はありましたが、私たちの身近に起こっている課題をどのように吸い上げていくのかお聞きしたいと思います。小学生の子どもがいて痛感しておりますが、交通安全の観点から具体的に例を挙げますと、道路や横断歩道の白線がかなり消えています。止まれという文字も消えています。さらに、子ども達は身長がないのに草がぼうぼうに生えていて車

が見えにくく、車の停止線も見えにくくなっています。意見を挙げたがなかなか改善されません。そのような一つ一つの身近な課題をどのように吸い上げていくのかお聞きしたいと思います。

伊藤副市長

今おっしゃられたことについて、基本構想ではなく基本計画の中の各部の施策において、交通安全や通学路の安全対策という分野で政策目標を掲げてやっていくことだと思っております。今おっしゃられたことは、地区の交通安全対策協議会を通じ学校経由で要望をいただいております、順次対策をしていますが、なかなか追い付かないのが実態であります。現在、千葉県八街市での交通事故を受け、緊急で通学路の交通安全点検をしています。その中で、白線や停止線が消えているという話を受けていますので、それは事業レベルで対応しなければならない問題です。基本計画の中の交通安全・通学路の安全対策の項目の中で対応すべきことかと思っております。

斎藤 茂子委員

ワーキンググループにすごく賛成です。様々な課題を総合的に見ながらということになると思います。期待しております。

三吉 庸善会長

市でもしっかりと対応していただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。
山崎委員、どうぞ。

山崎 英樹委員

私の個人的な意見になるかもしれませんが、まず計画期間の8年が長いと思っております。時代の流れが早くなった現代で、8年後の未来ははっきりわかりません。今回の計画は前期3年、後期5年ですが、私は前期3年、後期3年で計画を立てても良いかなと思います。というのも、今回想定される新たな視点の中にSDGsがありますが、ゴールは2030年です。このSDGsが策定されたのが2015年です。そこから6年経ってこうして全国的に普及してきていますが、2030年以降、新たにSDGsに代わるものが出てくると思います。それに対する新たな対応を素早くでき、SDGsから新たな目標になった時にそれに沿って新たなまちづくりができていけば良いのではと思います、8年は長いのではないかと率直に思いました。皆さん企業経営等もされていると思いますが、1年先のこともわからない中で本当に8年が適切なのかという点を意見させていただきました。

また、人口問題という中で先ほど多文化共生の話題もあがりました。今後、働く人口も少なくなる中で足りない労働力を外国の方に頼っていくことは大切だと思いますし、現に私の会社でも研修生の方に働いていただいています。それが良い悪いではなく、それにプラスして日本人の方をどのように出雲に来てもらえるかを考える。人口を増やすということは、出生者数を増やすことか、東京一極集中の中で新たな価値観や新たな魅力を伝え、多くの方に、出雲市に定住していただく。そのような大きなビジョンを描き、これからの出雲市のまちづくりに反映していければと思います。

伊藤副市長

総合計画の期間の問題がありましたが、総合計画という基本構想の部分はまちの将来像や理念ですから、時間が経過して陳腐化するようなテーマを掲げるわけではありません。10年前に「元気・やさしさ・幸せあふれる縁結びのまち出雲」をめざすという将来像を掲げましたが、これは今でも通用するものですし、これを次の10年の理念として掲げたとしてもおかしくない話でないかと思います。おっしゃるように、時代は目まぐるしく動いていますので、それらは基本政策として反映していかないといけません。17万人の市民が豊かな暮らしを享受し、各世代が生きがいを持って生きていける、そういった地域を作ろうというある意味普遍的なテーマの中で、この8年をどのような時代にするかという目標を掲げることでそう長い期間ではないかと思っています。理念のレベル、基本政策のレベル、様々なレベルがあります。本来は10年が1スパンで、前期5年・後期5年の基本計画を作ってきました。そのうえで、計画のもと一年ずつ事業をやっていくという段階があります。総合計画について言えば、8年、10年という期間は、一つの区切りとしてはそう長くないと思います。

今、コロナ禍という想定できなかった事態に陥っており、8年後どうなっているか非常に見通しがつきにくく、今回の総合計画を策定するにあたっての障害になるかと思っています。おっしゃるように、毎年時代は動きます。これには細やかに対応していかなければいけません。基本理念の部分はそういったことではなからうかと考えています。

山崎 英樹委員

ありがとうございました。「元気・やさしさ・幸せあふれる縁結びのまち出雲」は、おっしゃるとおりこれからも通用するものだと思います。理念よりも計画の部分に目がいきついで、そのような質問をしたのですが、先ほどの説明でよく理解できました。

三吉 庸善会長

ありがとうございました。落合委員、お願いします。

落合 のり子委員

総合計画策定におけるプロセスの中で公聴会の開催について書いてありましたが、この中にWEBサイトでの意見聴取等についても検討するとありました。これはとても大事なことだと思います。皆さん様々ご意見をお持ちかと思いますが、意見を言っているのだろうか？と思う方もいます。パブリックコメントとまた別に公聴会でWEBサイトを使われることはとても画期的かなと思いますが、具体的にどのように実施するのか伺ってみたいと思います。中学校区で集まると言っても、なかなか出掛けにくい状況もあると思います。

事務局（安食総合政策部次長）

WEBサイトでの意見聴取は、今回新しい試みで検討しているところでございます。コロナ禍において、制限があり集まって大きな会議ができず、県外の人との意見交換についても制約があったと思います。最近では、Zoom等のオンライン会議ツールを使って会議をしたこともございます。先般、ジオパークの全国大会をオンラインで開催しました。本来は松江市、出雲市にたくさんの方に起こしいただき皆さんと意見交換をする予定でしたが、やむを得ずオンラインでの開催となりました。そういった経験を踏まえ、例えば、市長がWEB上で意見を紹介し、他様々な資料を示し幅広く市民に意見を求める方法や、ターゲットを絞って意見

聴取をすることも検討しています。今回計画策定にあたって、島根大学の学生さんにも協力をいただいております。WEB サイト上で意見聴取や情報公開をし、こちらに意見を送っていただく等様々な手法を検討し、多くの方の意見を集めたいと考えています。

三吉 庸善会長

ありがとうございました。福島委員、お願いします。

福島 沙織委員

想定される新たな視点の中に、「関係人口」という観点も取り入れても良いかなと思います。関係人口は、交流以上、定住未満ということです。観光だけではなく、かといって定住するまではちょっとハードルが高いが、出雲に何かしらの形で関わっていきたい。例えば、出雲出身だが他県にいる方や、神話・出雲大社等に興味があり出雲に対して非常に愛着を持っている方等、ふるさと納税のようなものをはじめ、様々な形で出雲を応援したい、サポートしたい、きっかけがあれば出雲に定住したいというふうに、UI ターン等で出雲に住んでくれるかもしれない可能性が非常に高い層が関係人口だと思います。出雲未来図ですと、定住人口と交流人口に関しては明確な数値目標があり検証されていますが、この 10 年間にできた「関係人口」も今後の人々の価値観を表す大きなキーワードですし、島根県は全国的にもトップランナーとして関係人口が増えていますし、いろんな面で増やしていこうとしている地域だと思います。出雲市が率先して「関係人口」というキーワードを取り入れていくのは、非常に大きな意味があると思っています。

一点質問ですが、資料の 2-1 の 4 ページ、市民意見の反映の(5)その他 で、本市出身あるいは本市在住の大学生からの意見聴取とありますが、本市出身というのは出雲市出身だが他県に出ている大学生ということでしょうか。どういった観点で大学生から意見聴取を想定されたのか教えていただければと思います。

事務局（杉原政策企画課長補佐）

大学生の関係について、具体的には島根大学の学生さんで、このような計画についてのゼミをされているところの学生さんというイメージです。その中に本市出身の学生さんもいらっしゃることを想定しての内容です。

三吉 庸善会長

関係人口につきまして、事務局より何かご意見ありましたらお願いします。

事務局（安食総合政策部次長）

先ほど福島委員よりありました「関係人口」について、第 2 期総合戦略を策定したときから関係人口というキーワードが全国的に出ております。非常に大事なことですし、「出雲」というキーワードは非常に知名度が高いです。そういったところを生かしながら、関係人口づくりにも今後この戦略を盛り込むことが可能かと思います。貴重なご意見ありがとうございました。

三吉 庸善会長

その他、なんでも結構です。岡委員どうぞ。

岡 彩子委員

総合振興計画策定における今後想定される新たな視点ということで、人口減少対策、SDGs、多文化共生、ジェンダーLGBT、脱炭素社会の実現で異常気象の災害やレジリエンスへの対応というところやデジタルファーストもありますが、このような新たな視点において、市民がどのように現状把握をしているのか、この視点に対してどう考えているのかを把握しておかないといけないと考えております。

その際、市民満足度調査の質問項目の中で、この新たな視点（SDGs、脱炭素等）に関する質問事項が少ないかと思われました。質問は、この新たな視点を出雲市民がどのように考えているのか、現状把握しているのかをどのように把握していくのか聞きたいです。

事務局（安食総合政策部次長）

貴重なご意見いただきありがとうございました。想定される新たな視点は、資料に書いてある項目ばかりではないと思いますが、まずは市民満足度調査で調査をしています。今回、調査票にデジタルの項目を追加しました。これは、市民のニーズが前回の調査実施時とどう変化したかという過去との比較をしたいことから、このような調査としました。

ただ、この新たな視点につきましては、市民の皆さん各地区の方との意見交換、或いはこれから予定をしているキーパーソンとなるような方との意見交換、それからここにいらっしゃいます委員の皆さんの声を聞きながら、何をもちょう新しい分野と言うか、新たな視点のどこを取り入れるかということも含め、皆さんのご意見をいただければと考えております。岡委員の意見も検討させていただきたいと思っております。

三吉 庸善会長

その他、よろしいでしょうか。議題 2 の、次期出雲市総合振興計画策定につきまして、スケジュール案も示されておりますが、このような進め方でよろしいでしょうか。

<質問等なし>

三吉 庸善会長

特にないようですので、事務局の策定されたスケジュール・内容に沿って進めて参りたいと思います。意見はその都度伺いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、出雲市の主要統計について事務局からご説明をお願いします。

（3）出雲市主要統計

事務局（廣澤政策企画課係長）

資料 3 をご覧ください。今回の計画策定にあたり、統計データを出雲市で作成しました。出雲市の様々な分野におきまして統計データを掲載しておりますので、今後話し合いのご参考にしていただけたらと思います。

今回、この中から一点ほどご説明させていただきます。66 頁下段、実質公債費比率、将来負担比率をご覧ください。出雲未来図におきまして、財政の健全化を掲げてきたところでございます。実質公債費比率

は1年間の収入に対する借入金の返済額の割合であり、将来負担比率は将来支払っていく可能性のある負担の残高を指標化したものです。グラフをご覧いただくと、これらの数値が減少をしてきたことがわかると思います。全国平均と比較するとまだまだ高い数字ではございますが、この間、着実に減少をしている状況です。まだ道半ばでございますので、これからも財政の健全化に向けて頑張っていきたいと思っております。

この主要統計でございますが、人口データひとつとっても、あらゆる面からデータを示しています。産業、観光、農林水産業、教育等あらゆる分野につきましてデータをまとめておりますので、ぜひご参考にしていただけたらと思います。

三吉 庸善会長

この統計につきましてご質問等ございましたらお願いします。

<質問等なし>

三吉 庸善会長

また、ごゆっくり読んでいただきまして、次回ご質問等あればお願いしたいと思います。また、その他何でも結構です、質問がありましたら承りたいと思っております。

<質問等なし>

三吉 庸善会長

萬代委員、議会を代表して一言コメントをいただければと思います。

萬代 輝正委員

これから様々な意見を聞きながら方向性を出していく段階ですので、我々は議会の関係とも相談しながら皆さんの意見を聞き、行き来できれば良いと思っています。また、今回(株)バイタルリードに策定にあたって協力いただくことについて、我々が意見を積み上げながらどのように市と共有し、(株)バイタルリードが計画を作っていくのか流れを教えてくださいませんか。

事務局（杉原政策企画課長補佐）

今回、総合計画策定支援の業務を委託している(株)バイタルリードですが、市民満足度調査や高校生意識調査の統計についての集計・資料作成や若手職員ワーキンググループの運営支援、大学生との意見交換、キーパーソンヒアリングの後方支援等ご協力いただきたいと思っています。

三吉 庸善会長

その他、何でも結構ですかご質問はございませんでしょうか。

<質問等なし>

三吉 庸善会長

それでは、まだ終了時間には早いですが、今後、会を重ねるにつれて具体的になって参ります。白熱して時間超過することもあるかと思えます。皆さんお忙しいので、今日のところはこの辺で議事を終了させていただけたらと思えます。では、事務局に進行をお返しいたします。

安食総合政策部次長

会長そして委員の皆様、大変ありがとうございました。今後、総合振興計画に向けてご審議いただいた内容やその他計画策定に関する事、本日语り尽くせなかったこと等何でも構いませんのでご意見をお寄せいただきたいと思えます。記入いただく様式は本日お配りしておりますが、様式にこだわりはありませんので、ご意見のある方はメールまたはファックス等で是非ともお寄せいただきたいと思えます。本日、副市長も申しましたように、8年後の出雲の未来のあり方について皆さんと一緒に考える機会でございます。夢が持てるような、そういった取組をして参りたいと思えます。ぜひ皆さんのご忌憚のないご提案をいただきたいと思えます。

お寄せいただくご意見ですが、11月5日までをお願いできますと、次回の会議で意見をまとめさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

それでは、最後に第3回までの会議の予定についてご報告いたします。次第にも書いておりますが、次回は12月21日火曜日、午後に開催を予定しております。第3回は来年の2月8日に開催を予定しておりますので、お忙しいとは思いますがご予定の調整をよろしくお願いいたします。

皆様には本日長時間ご出席いただきまして誠にありがとうございました。以上で本日の会議を終了させていただきます。ありがとうございました。